

8. 舞鶴市木船家文書・郷土資料館 所蔵文書調査

小島 慧音

1. 概要

文化情報学研究室では昨年度に引き続き、舞鶴市郷土資料館の小室智子氏や舞鶴地方史研究会の方々と共同で、木船家文書、郷土資料館所蔵文書の調査を実施した。舞鶴市では、2013年から継続して舞鶴市・舞鶴地方史研究会などと連携し調査を実施している。本調査は2019年に開始された。

調査日程 2023年6月16・17日、8月20・21日、11月19日、12月16・17日、
2024年2月18日

調査参加者 東昇（教員）、正瑞千幸、長谷川巴南（以上博士前期課程2回生）、渡邊幸奈
（4回生）、小原万侑、小島慧音、島村朱音、渡部凌空（以上3回生）、岩間
智哉、山蔭晴人（以上2回生）、上武恒介（1回生）

2. 内容

木船家文書は、舞鶴市溝尻地区の大庄屋を務めていた木船家に伝来する、近世から近代にかけての約9000点の文書群である。調査内容は、文書の現状を記録する写真撮影、文書に番号を付与するラベル貼り、一点ずつの文書の目録作成の大きく3つに分けられる。昨年度までに写真撮影・ラベル貼りが完了しており、今年度は目録作成が終了し、文化遺産叢書『舞鶴木船衛門家文書調査報告』を刊行した。また、舞鶴市郷土資料館所蔵の上西家文書・真下八雄文庫について、ラベル貼りと目録作成を行っている。上西家は屋号を九平といい、元々は寺の建物を手掛ける大工の棟梁であった。舞鶴市内の常楽寺も上西家が手掛けたとされ、上棟式の際の木槌が寺に保管されている。今後も調査を進め、概要の把握に努める。



写真1 ラベル貼りの様子



写真2 目録作成の様子